

活動ノート



6月28日(土)

アカマツ林整備(除伐・シダ刈り)

12:40~15:30

◆参加者: 松雪、榊、林、中嶋、川上、静間、鎌田、岩尾、富永、松下、国広(信)、国広(友)、山本 計13名

◆内容: 当日は風がほとんどないムシムシした曇り空でしたが、午前中の活気あるうん・えー会の流れを受けて、参加者全員予定時刻通りに作業準備に入りました。まずは、現場で失くしやすいカマやナタなどに一目で目立つ赤いマーキングテープを付ける作業を行い、その後当日の作業内容や注意事項に関する打合せを行いました。

13時過ぎには現地に行き、準備体操や班分けを行った後作業を開始しました。今日の作業では、A班がアカマツ林入口から階段を降りたところに密集気味に生えていた高さ5~8m前後のコシアブラやネジキ、ヤマハゼ等の小径木を7~8本除伐しました。この付近では、近年アカマツの実生幼木が多く出てきていましたが、これらの広葉樹が幼木を覆って日陰になっていたため今回除伐を行いました。これにより、日



陰を作っていた広葉樹のほとんどは除伐できましたが、まだ一部山桜やクロキなどの広葉樹が残っています。また、階段西側には常緑広葉樹が密生し、A地区の日照を妨げているので、今後この付近の除伐を行う必要があります。

B班は、これまでシダの繁茂が著しかった、幼木調査用コドラート付近での草刈りや低木、萌芽などの除伐を行いました。この付近は、最近草刈りを行っていなかったためか、カマでも切りにくいほど太いシダが一面を覆っており、松の幼木がほとんど見えないような状況になっていました。それでも幼木を切らないように注意してシダ刈りを進めていくと、シダの中に沢山の松の幼木がしっかり育っているのが見えてきて、皆さん嬉しい声を挙げていました。シダ刈りについてはほぼ予定の範囲を完了することができましたが、遊歩道の谷側では草や広葉樹の繁茂が著しく、まだまだ作業は続くかと実感した次第です。なお、今日の作業で出たシダや枝などは、地表面の富栄養化を防ぐため、すべて材処理ヤードに運び込みました。

14時45分頃に実作業はすべて終了し、その後現地での振り返

りと、今後の整備方針についての検討を行いました。その結果、急な谷状の地形をなすところに、その地形を生かしてヤードを移設すること、また放置丸太については斜面下方に移動させることなど、おおよその方向性を出すことができました。

【ふりかえりより】

- ・久しぶり大粒の汗が出ました。気分の良い半日でした。(松下)
- ・アカマツが日光に当たると伸びることを知りました。(山本)
- ・枝処理にまわり良い汗をかきました。(富永)

7月26日(土) 18:00

~27日(日) 10:00

昆虫調査

◆参加者: 鎌田、富永、静間、宮田家(4名)、新牛込家(3名)、山本、水崎、山下、日隈、栗田、丸山、樋口、花田、浅野、古藤先生(ゲスト) 計20名



◆内容: 今回は総勢20名の大所帯でのスタートとなりました。バーベキューは各自食材持参しましたが、皆さんの持込が予想より多く、最後は薪が足りなくなるほどでした。それにしても高校生はさすがに良く食べていました。

終了後は夜の昆虫観察をしな



からカブ森へ向かい、観察小屋でライトトラップ。20:30~22:30の約2時間で15種類の昆虫を撮影&同定できました。

また、一般宿泊者が5組ほど見学に訪れましたので、カブ森や森会の紹介と簡単なライトトラップの説明をおこないました。

深夜は古藤先生といつもの昆虫班3名でトラップの見張り番をしつつ目立った昆虫を朝のために採り置きして12種類を集めました。

2日目は朝5時30分から早朝のライトトラップを行ないましたが、通り雨に見舞われたのでその後のピーティングによる昆虫観察を中止してトラップの回収を先に行ないました。今年は例年以上の高所に設置したおかげでトラップ荒らしはありませんでしたが、梅雨明け1週間ほどということもあり、カブトムシは僅かに1匹、クワガタムシも1匹という結果でした。その後全員でうどんを食べて後片付け後、みんな感想を語り、予定より早めの10時には解散となりました。

【ふりかえりより】

- 油山にこれだけの虫がいたことに驚きました。また、蛾の深さ知ることができました。(水崎)
- 初めて見る虫が多くてとても良い経験になりました。(花田)
- トラップ荒らしも無く怪我も無く、楽しい活動になりました(新牛込)



8月24日(日) 夏休み 森の工作教室 9:00~14:00

◆参加者: 鎌田、岩尾、川上、林、中嶋、篠原、宮田家4名、松下、吉田、新地、丸山、吉田、雪丸、浅野、首藤、中西(見学)、計19名



◆内容: 会員は9時に集合し、観察センターレンジャーの小川さんに本日の流れ、作成する「モリンバ」の説明等をしてもらいました。雨模様だったのでキャンセルが多く、10時の開始時間に集まったのは6家族で、会員と合わせて総勢36人の活動説明会となりました。

小川さんの進行で今日のスケジュール、木工で作る「モリンバ」の作り方の説明を聞き、アカマツ林での活動紹介ビデオを見てもらいました。雨が上がってきたので、センター前に集合しアカマツ林の見学に向かい立派なアカマツを見てもらいながら、作業の内容や松くい虫の被害についてお話をしました。子供たちはキノコやミミズなどの森の生き物に興味津々でした。



会場で改めて手順や使い方を説明し工作教室の開始です。始めは台木の玉切りから始め、どのグループも大人から子供まで一生懸命に取り組んでいました。

そして次は重要な部材となる竹の「枕」の製作。ナタで竹を縦に割り、のこぎりで長さを調整し、ねじ穴をあけました。竹の表面は斜めで固くつるつるして滑るため、穴をあけるのが大変でした。台木にもねじ穴を浅く空け、組み立て工程へ移りました。組み立てでは、ヘアピンを台木に差し込みヘアピンの長さを調整して音階を作り、ネジを締めて台木を固定しました。最後に雨で現地調達ができなかったため、センターで用意してもらった木の実や小枝、どんぐり、竹を使い、個性あふれる「森」のデコレーションを作りました。

入会はなかったもののケガも無く楽しい一日になりました。たくさんのかわいい笑顔に会えてよかったです。

【ふりかえりより】

- いろいろ作れて良かった。(宮田陽)

